

9月3日(土)、CNS Academy 2016（東京都、主催：ヤンセンファーマ株式会社メディカルアフェアーズ本部）に、当院の北村医師が参加しました。前半の成人期 ADHD 部門では、成人期 ADHD の疾患（名古屋大学 岡田俊先生）と治療（奈良県立医科大学 飯田順三先生）の概論が講演され、知識の整理に大いに役立ちました。続くパネルディスカッションでは、日中の過剰な眠気を主訴とする症例と、境界性パーソナリティ障害との鑑別を要する症例が提示され、多彩な様態を示しうる成人期 ADHD の診断と見立ての難しさを、あらためて実感しました。

後半の認知症部門では、最初に、J-ADNI（Japanese Alzheimer's Disease Neuroimaging Initiative、日本におけるアルツハイマー病脳画像診断法の先導的研究）でもご活躍の岩坪威先生（東京大学大学院医学系研究科神経病理学分野教授）による特別講演「アルツハイマー病の超早期診断と治療」がありました。アルツハイマー病の脳に凝集・蓄積するアミロイドβタンパク質に対する抗アミロイド抗体薬、臨床症状がいまだ出現していない段階のアルツハイマー病（アミロイド PET の陽性所見や、髄液中アミロイドβタンパク質の低値で明らかとなる）に関する最新知見が紹介されました。続くパネルディスカッションでは、実際の日常臨床における認知症の診断と治療のコツや問題点について、有益な議論がありました。今後の診療に大いに役立てたいと思います。